

島地川ダム

高瀬湖だより



卒業記念植樹(和田小学校6年生)を開催しました!

2月27日(水)、卒業を間近に控えた周南市立和田小学校6年生3名による卒業記念植樹を島地川ダム湖畔(高瀬湖)において開催しました。また、植樹終了後にはダム見学会も行いました。



植樹完了! みんなで記念写真

この取り組みは、水源地における森林の大切さを知ってもらうことに併せ、児童自身の手で植樹を行うことで島地川ダムに愛着を持って頂くとともに、ダムの役割について理解してもらうことを目的に行っており、平成8年度に始めて以降、今年で23回目の開催となりました。

児童の皆さんはそれぞれの道を歩んでいくと思いますが、将来このシダシ桜を見に訪れて、楽しかった小学校生活を思い出して欲しいです。

高瀬湖だよりに関する 問い合わせ先

発行者/国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所
島地川ダム管理支所
住所/〒746-0101
山口県周南市大字高瀬257
TEL(0834)67-2878
FAX(0834)67-2427
○ホームページ(山口河川国道事務所)
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>



シダシ桜の植樹



各々でアジサイの植樹



ダム内部の見学状況

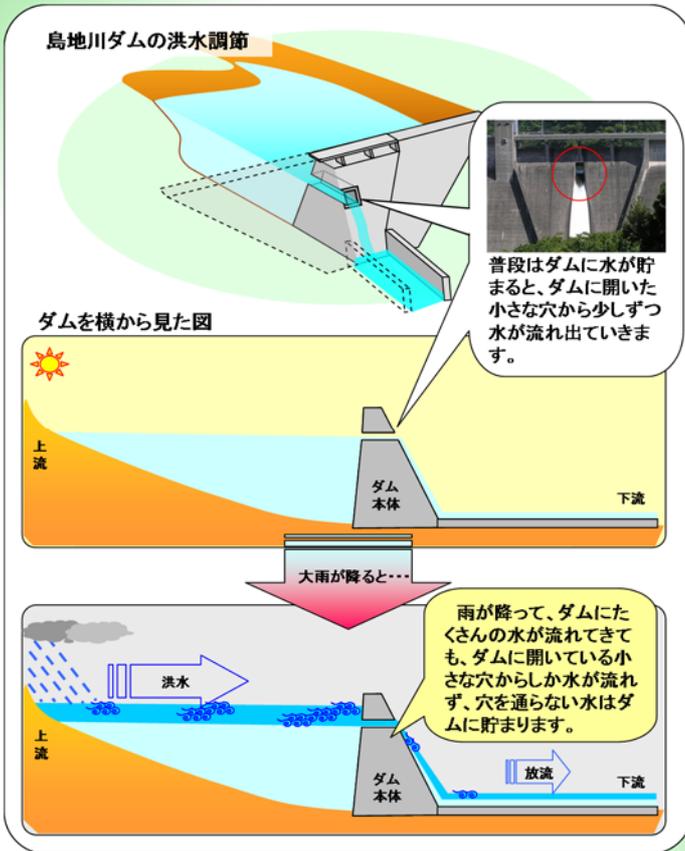


ダム下流で記念撮影

島地川ダムについて 《ダムの学習コーナー》

島地川ダムは、主に「洪水調節」「利水」「河川環境保全」の3つの目的で建設された多目的ダムですが、今回は「洪水調節」について説明します。

洪水調節のしくみ



島地川ダムの計画では、計画高水流量370m³/sの洪水が流れ込んできても、ダム湖に290m³/sを貯め、下流へは80m³/sだけを放流することで、周南市和田、山口市徳地、防府市を洪水から守ります。

昨年、中国・四国で甚大な被害のあった7月5～7日の豪雨時に島地川ダムの上流域に降った雨量は256mmで、ダムへの最大流入量は約80m³/sでした。

左の図に示すとおり、ダムの洪水調節によりダムから約7km下流の和田小学校付近では河川水位を約30cm低減し、河川の水位上昇を緩和する効果を発揮しました。



島地川ダムを 見に行こう！

皆さん「島地川ダム」に来られたことがありますか？
3月に入って急に暖かくなってきました。高瀬湖周辺の木々も日毎に春の装いになってきますので、是非「ダム見学」にお越し下さい！

《ダム見学の概要》

・島地川ダムは事前に予約いただければ、普段は入れないダム操作室やダム内部を通り抜けてダム直下からダムを見上げダムの大きさを体感することが出来ます。

・島地川ダムは「RCD工法」を世界で初めて本格的に導入して建設された重力式コンクリートダムで、資料室等では色々な資料を見ることが出来ます。

・大人気の「ダムカード」が1人1枚貰えます。※5月末まで記念ダムカードも配布中です！



◆◆ 編集後記 ◆◆

昨年10月以降は少雨傾向が続き、貯水位は通常時より約3m低下し、貯水率も87%まで落ち込みました。渇水が懸念されましたが、3月4日に貯水率は100%に回復しました。

皆さん水は大切に使って下さいね！(N・Y)